

同じシリーズ内の補聴器であれば、クラス（価格帯）やモデル（形状）が異なっても、COMPASS GPSのデータベースに保存している調整データを移行することができます。

例えば、お客様がU4-FSを試聴をしていたが、U2-FAも試聴してみたいと、ご要望があったときの調整に便利です。

## 調整データ移行手順

- ① COMPASS GPSを起動し、**データ移行元となるお客様**を選択し、「**新しいセッション**」をクリックします。

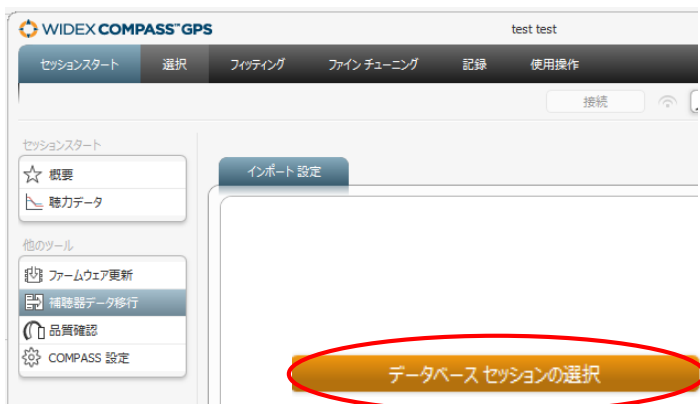
Noah4をお使いの場合は、データ移行元となるお客様を選択し、モジュールバーの「COMPASS GPS」をクリックしてください。



- ② 「セッションスタート」画面の「**補聴器データ移行**」をクリックしてください。



- ③ 「**データベースセッションの選択**」をクリックしてください。



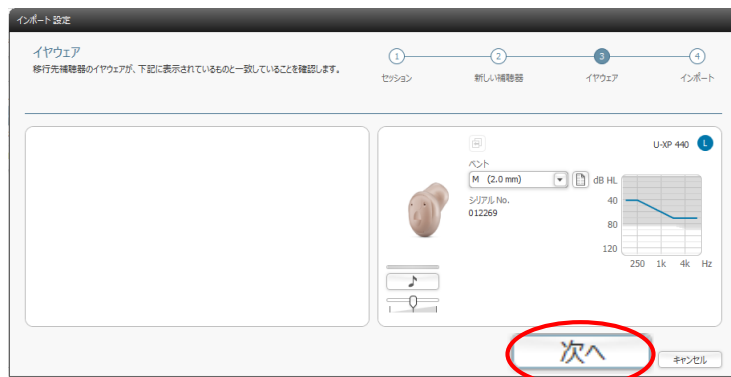
- ④ 移行先の補聴器の電源を入れ、プログラミングインターフェースの通信範囲内に補聴器を置き、接続の準備をします。  
画面上でデータ移行したいセッションを選択し、「**移行先の補聴器へ接続**」をクリックします。



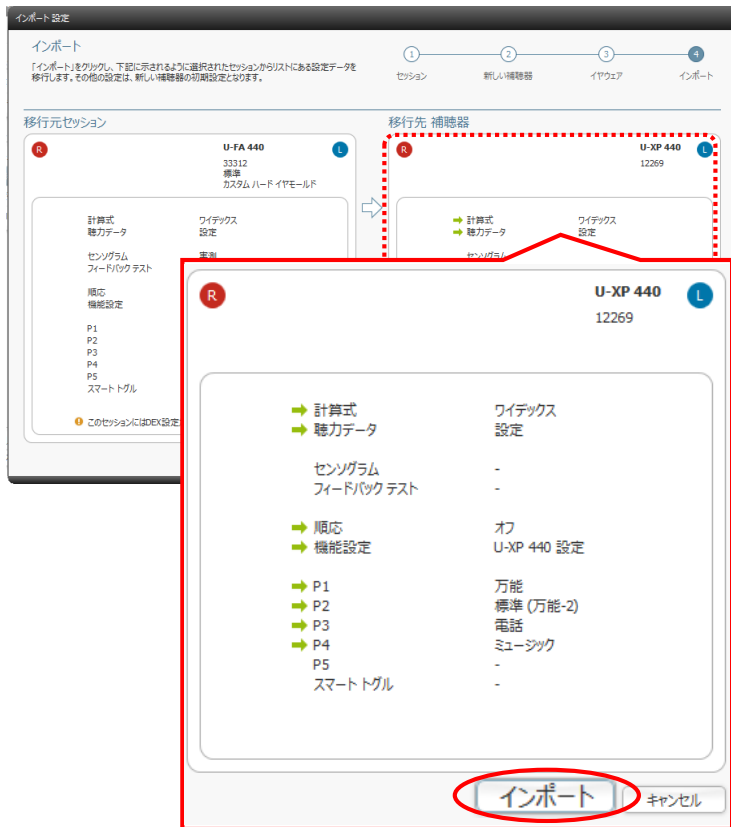
- ⑤ 続いて、データ移行先となる補聴器の左右を指定してください。



- ⑥ データ移行先の補聴器の音響構成を設定し、「**次へ**」をクリックします。



- ⑦ 『➡』で示されたものが、移行元のセッションから移行先補聴器へ移行されるデータです。確認後、「インポート」ボタンをクリックしてください。

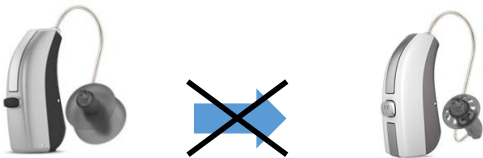


- ⑧ 以下が表示されましたら、データ移行完了です。念のため、フィッティングデータが正しく移行されているか、ご確認ください。



## 調整データを移行できない例

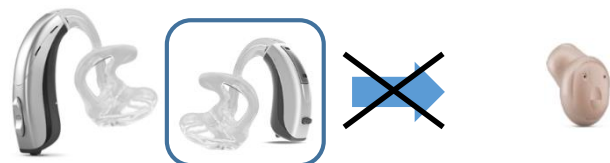
- ・移行元と移行先の補聴器のシリーズが異なる場合



移行元：U4-FS

移行先：B3-F2

- ・両耳設定の調整データを片耳のみへ移行



移行元：両耳設定

移行先：片耳のみ

### 移行されない内容

- ・補聴器のシリアルナンバー
- ・サウンドダイアリーの記録データ
- ・スマートスピークの男声/女声、言語の設定
- ・DEX/CROSマッチング設定

\*音響構成が異なる場合は、フィードバックテストとセンソグラムの測定結果は移行されません。